

森ノ宮医療大学 保健医療学部・保健医療学研究科・助産学専攻科へのご入学、誠にとおめでとうございます。在学生・教職員一同、歓迎いたします。そして、保護者の皆様、ご家族の方々におかれましても、心よりお祝いを申し上げたいと思います。また、本日の入学式挙行にあたり、御来賓の皆様におかれましては、平素の当大学に対する御指導・御支援に感謝申し上げますとともに本日の御臨席まことにありがとうございます。

さて、森ノ宮医療大学は、今年、創立10年の節目を迎えました。振り返れば、平成19年に鍼灸学科・理学療法学科を擁する医療大学として開設、平成22年には看護学科が新設され規模が拡大。そして、10周年を迎えた本年度には、臨床検査学科・作業療法学科・助産学専攻科が新設され、医療分野に特化した大学として大きな飛躍を遂げました。1学部5学科、大学院・専攻科を有する、まさに“医療系総合大学”です。この10年間、教職員一丸となって大学力向上に努め、多くの優秀な医療人を輩出し、常に革新的な挑戦を続けて参りました。わずか10年の間で、これほどの成長を達成でき、医療業界からも高い評価を頂き、大学の認知度を飛躍的に高めたことは我々の大きな誇りとするところであります。今年度、本学を志望する受験生の著しい増加は、まさにその表れであり、そして、その高い倍率の中で本学入学を勝ち取った皆様は、選ばれし者です。どうか、自らの能力に大きな自信を持っていただきたいと思います。新学科増設に伴い、校舎も増築致しました。既にご覧になられたかと思いますが、運河を挟んで新築された校舎は、立派な体育館・図書館を有する高層の建物で、本学発展の象徴とも言えるものです。この新たな環境の中で、皆様を、“優れた医療人として立派に教える”、教職員一同、そのように心新たにしております。“この大学に来てよかった”、卒業の時、必ず皆様にそう思っただけのものとして信じております。そして皆様の成長

とともに、大学自体もここで留まることなく、さらなる飛躍を目指し、皆様が誇りを持つ母校であり続けたいと思っております。

本学は、多様な医療職種を育成する学科を有します。

- ・チーム医療の重要性が指摘される現代医療において患者と最も深く接し、医療現場における要とも言うべき「看護師」・・・
- ・疾患や老化のために衰えた運動能力を維持・向上させ、寝たきりを防ぎ、患者の生活の質を保つ上で極めて重要な位置を占める「理学療法士」・・・
- ・病院から地域・在宅といった幅広いリハビリテーションのニーズに応え、認知症患者ケアなどを通じ高齢社会でその役割がますます注目される「作業療法士」
- ・医療の高度化に対応し、診断・治療に必要な科学的データの分析結果を解析・提供し、医療現場を支える「臨床検査技師」
- ・そして、プライマリーケア・緩和ケア・補完代替医療の分野で従来の西洋医学とは異なる特徴を持ち、統合医療の分野で注目を集める「鍼灸師」・・・
- ・地域に密着した母子保健の発展に貢献し、助産に関する高度で幅広い知識と技術をもつ「助産師」
- ・そしてまた、より深い医学研究を展開する大学院保健医療学研究科・・・

このように、5学科、1研究科と、多種多様な医療職種を育成する学科を持ち、また学科の垣根を越えた学びができる医療大学は決して多くありません。そして、本学では、これら各分野でさまざまな専門知識・技術を有する臨床能力の高い教員が確保されており、確かな知識と技術を学ぶことができます。さらに、本学の医療教育はチーム医療に重点を置いています。異なる職種がチームを組み、互いの持ち味・スキルを生かしながら患者に対応する。現代医療の基本とも言えるチーム医療ですが、その教育は、医

療系総合大学だからこそできることであり、最大の強みです。学科新設に伴い、チーム医療の最前線で活躍できる医療人の育成・輩出に教職員一同、志を新たにしております。もちろん、建学の精神である「臨床に優れた医療人」を育てる教育環境も整っています。地域の中核病院を中心とした多様な連携病院・実習病院を豊富に確保しているのも、本学の大きな特徴であり、病院実習では実践力を身につけるとともに、医療の奥深さ、重要性、そして魅力をいっそう実感できることと思います。

さて、医療人を志し、見事、本学に入学された皆様は、今ようやくスタートラインに立ち、喜びと希望に満ち溢れていることと思います。スタートラインに立った皆様に、ある著名な内科医の言葉を皆様に贈りたいと思います。ウィリアム・オスラーという内科医を御存知でしょうか。1849年カナダ、オンタリオ州で生まれ、ペンシルベニア大学、オックスフォード大学で教授となった内科医で、肺炎は老人の友、人は血管とともに老いるなど医学界で多くの名言を残しています。そのウィリアム・オスラーの医療人に向けた言葉として、こういうものがあります。「あなたが観察しなければならないこと、自分の目で見、聞き、そして心で感じること」。これは医療の基本であろうと思います。皆様方お持ちの本日のプログラムの裏側には森ノ宮医療大学校歌が書かれていますが、まさにこの精神が歌詞となっています。「掌（て）で耳で目で聞きとろう、人の心と身（からだ）の声を」。どうか、自分の目で見、聞き、そして心で感じる医療人になってください。五感と心で感じること、この姿勢は医療人の原点です。またオスラーは、医療は科学に裏打ちされた技術ともであるとも言っています。五感と心はもちろんですが、論理性・科学的思考も重要であるということです。皆様には、幅広い知識と高度な専門技術を有し、感性豊かな高い倫理観を備えた専門職医療人を目指して勉学に励むとともに、生涯の良き友を作り、社会見聞を広め、青春を謳歌してほしいと思います。

どうか、有意義な大学生活を送ってください。教職員一同、最大限の応援を惜しみません。そして、本日、出席されている保護者の皆様、ご家族の皆様にもどうかご協力もお願いしたいと思います。

4年後、大きく成長した皆様に卒業式でお会いできることを楽しみにしております。本日は誠におめでとうございます。